

令和5年度 むつみ幼稚園 自己評価結果の総括表

1. 本園の目指す幼児像

- 元気に挨拶が出来る子 ○強いからだと優しい心をもつ子 ○何事にも一生懸命になれる子
 ○生き生きとした素直な心で、物事が見られる子 ○基本的な生活習慣を身につけられる子

重点目標	評価項目						コメント 評価結果に関する説明・意見書	
		取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果		総括評価
幼児が主体性を発揮して活動を展開できる環境の工夫	幼児一人一人が自己発揮できるための指導	4	振り返りの記録を整理し、一人一人が自己発揮している場面について考える	3.1	4	友だちと気持ちを出し合いながら遊ぶようになった	3.7 A (3.4)	一人一人の遊びを見る事から始めた。遊びの様子を写真に撮って、記録することで子ども理解も深まっていった。また、職員会議で記録を持ち寄り、職員間で意見交換もした。職員間で話し合うことで、互いに子どもの遊びの様々な場面の自己発揮を知ることが出来た。 ・しかしクラスの中で、集中して遊ぶまで進まない子どももいたり、自分の思いを伝えられない子どももいた。もっと、子ども同士が意見を出し合うに機会を増やし、それぞれが自己発揮できるような遊びを展開できるように進めていきたい。
		3	幼児理解を深め、一人一人に合った配慮や援助を考える。		3	好きな遊びに集中して遊ぶようになった		
		2	保育の振り返りや記録から、一人一人の幼児の内面を理解する		2	好きな遊びを見つけて遊ぶようになった		
		1	幼児一人一人をよく見る		1	幼児たちは喜んで登園している。		
	幼児が意欲的に遊びを進めるための環境構成	4	幼児自身で場で作ったり、準備したりできるように材料・用具等を分類したり扱いやすいように置いたりする	3.1	4	自分たちでアイデアを出し合いながら遊びを楽しむようになった	3.4 A (3.3)	・遊びの中で子どもたちの声を聞き、必要な材料や環境を整えることを心掛けた。子どもが「やってみよう」と思ったことがすぐできるように日々の姿から子どもの動きを予想して環境を準備をしていった。 ・子どもたちの方から「テープが欲しい」「ボンドが欲しい」等、必要な道具等の要求の声も増えてきた。 ・年長児は複数の友だちと一緒に遊びを進めて行き、何が必要か相談し合ったりアイデアを出し合う姿も見られるようになった。 ・自分のクラスだけではなく、他のクラスの環境構成にも目を向け、影響し合うことも今後進めていきたい。
		3	幼児が必要と感じた時に、タイミングよく遊具・用具・素材を提示する		3	遊びに必要な遊具・用具・素材を探したり教師に相談したりするようになった		
		2	幼児の遊びや興味関心に応じた遊具・用具・素材を準備する		2	興味を持ったものを自ら選んで遊びに取り入れるようになった		
		1	幼児が手に取りやすい所に、遊具・用具・素材を準備する		1	幼児は環境として置いてあるもの(遊具・用具素材等)を見ていた(興味は示さなかった)		
	自分の思いを表現し、伝える	4	幼児なりの表現を受け止め、言葉にして返していく	2.9	4	教師や友だちとの言葉のやり取りを楽しむようになった	2.7 B (2.8)	・教師が子どもの声を聞きたいと寄り添うことで、幼児も教師に聞いてほしいという思いを持ち、一生懸命に話し伝えたいという思いを持つ姿がみられるようになった。 ・幼児の表情や小さなつぶやきを逃さないように心がけていったが、その場では気付かず、写真などの記録を取り、振り返ることで幼児の姿や思いに気付くこともあった。 ・また、言葉にならない幼児も教師に寄り添い話しかけるような動作をする姿もみられ、満足する姿もみられた。 ・しかしクラス全員の思いや言葉を聞けたか、思いに気付くことが出来たか、毎日反省を繰り返した。
		3	保育の振り返りや記録の分析から、幼児の思いを推測してみる		3	自分の思いや知っていることなどを、聞いてもらいたがるようになった		
		2	幼児の興味や発達に適した絵本や紙芝居などを読み聞かせる		2	自分の気持ちを、伝えようとするようになった		
		1	幼児の表情に着目し、言葉にならない幼児の思いに着目する		1	何かを伝えたような表情はするが、言葉にはならない		
健康な体作りを目指して	健康に関する幼児の意識を高める指導の工夫	4	保育室だけでなく、手洗いの場などの衛生管理に気を付けて環境を構成する	3.5	4	うがいをしない友だちに、促す言葉や確かめる言葉をかけたりするようになった	3.5 A (3.5)	・手洗いの様子のポスターを貼ったり、歌に合わせて手洗いをしたりなどを進めた。 ・幼児もポスターに興味を示し、手順に沿って手洗いをするようになった。 ・食後の手洗い・うがいは流れになり、言われなくても進んで行く。しかし、水遊びへもつながり終わらないこともある。 ・「〇〇ちゃん手洗ってないよ」「うがいしていないよ」などの言葉も聞かれる。 ・コロナ感染からか、衛生面への子どもたちの関心は高いように感じる。
		3	幼児が自分で手洗いすることを促す図など分かりやすく提示する		3	幼児は必要感を持って手洗い・うがいをするようになった		
		2	教師が、うがい、手洗いなどを率先してモデルを示す		2	教師に声を掛けられなくても、手洗いうがいをするようになった		
		1	感染予防に関する話をする		1	教師等に声を掛けられたら、手洗いうがいをする		

☆取組と成果に関する評価結果
 A とても良い
 B まあまあ良い
 C 普通
 D 良くない(再検討)

○ 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>今回の自己評価からむつみ幼稚園において目指すべき教育や教師としての姿勢は、教師間において共有され保育に活かされつつあるが、若手教師が多く様々な面で学びが必要と感じられる。これからも、研修や園内研修の計画をしっかりと立て、学びを広げて保育の質の向上を目指していきたい。</p> <p>今年度の重点目標は、ほぼ達成しているものの、課題も残った。「幼児が主体性を発揮して活動を展開できる環境の工夫」を引き続き次年度の課題として再度取り組んでいきたい。一人一人の幼児と遊び、対話しその中で幼児理解を深め、遊びや生活の中で自己発揮できるような環境構成を心掛けていきたい。また幼児の一言一言を大切に聞き、幼児の思いを受け止めながら遊びを広げていきたい。</p>

○重点的に取り組む課題

	課題	具体的取り組み方法
1	幼児が主体性を発揮できる環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の主体的に遊ぶ姿を捉え記録する ・子どもたちの遊び中で自己発揮できるような環境構成を整える。
2	保護者との連携の充実に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録の充実を目指し、子どもの姿を共有する。 ・個人懇談や送迎の際に子どもの様子を細かく伝える。

< 意見 >

・保護者アンケートの結果もよく、保護者からよく理解をされていることがわかる。また、個人記録をドキュメントで作成し保護者に発信することで、子どもの園での様子を共通理解することが出来ている。保護者も喜んでくれると思われ、保護者との信頼関係にもつながっていると思う。

運動会をみせていただき、年長さんがリレーをしていることに驚いた。卒園式でもみんな落ち着いていて、立派な姿を見せて頂きました。小学一年生は直線を走るし、入学時には赤ちゃん扱いしすぎだと考えさせられました。

幼稚園や保育園でもいろいろな事件をニュース等で目にします。安全面への配慮を更に徹底させてほしい